なぜ ChatGPT Plus はトークン使用量に基づいて課金すべきなのか

ChatGPT Plus は、固定の月額 20 ドルではなく、トークン使用量に基づく柔軟な料金モデルに移行すべきです。

- 現在の価格: 月額 20 ドル。

提案: トークンベースの価格設定モデル

1. GPT-4 API は、100 万入力トークンあたり 2.50 ドル、100 万出力トークンあたり 10 ドルで課金されます。ChatGPT Plus ユーザーにとっては、同様の使用量ベースの料金モデルが理想的です。
2. iOS の固定価格サブスクリプションの制限を克服するために、OpenAI はウォレットシステムを導入することができます。
3. ユーザーは資金（例：20 ドル）を預け入れ、トークンの使用量に応じてリアルタイムまたは毎日引き落とされます。サービスを中断なく利用するためには、最低残高（例：10 ドル）が必要となります。

メリット:

- 柔軟性: 使用頻度の低いユーザーは過剰な課金を避け、使用頻度の高いユーザーは比例して支払います。
- 公平性: ユーザーは消費した分だけ支払います。
- 適応性: 既存のサブスクリプションモデルとシームレスに統合します。

週間ユーザー数が 3 億人いる中で、このモデルに移行することで、より多くの加入者を引き寄せることができるかもしれません。予測される 116 億ドルの収益に基づくと、現在の 20 ドル/月プランを利用しているユーザーは約 4833 万人と推測されます。

この柔軟な価格設定アプローチは、ユーザーにとってより公平で、よりカスタマイズされた体験を提供するでしょう。